



鮮鶴平和賞

SUNHAK PEACE PRIZE

【報道資料】

2022年2月7日

第5回鮮鶴平和賞 受賞者決定

2022年2月7日、鮮鶴平和賞委員会(委員長：ジョゼ・マヌエル・バロゾ元欧州連合(EU)委員会委員長)は、第5回鮮鶴平和賞をオックスフォード大学ジェンナー研究所ワクチン学教授のサラ・ギルバート博士と世界ワクチン免疫連合(Gavi, the Vaccine Alliance, 2000年設立)に贈ることを決定しました。

授賞式は2月12日(土)、韓国京畿道清心ワールドセンターを会場に行われ、オンラインを通じライブ中継されます。



●第5回(2022年)鮮鶴平和賞

サラ・ギルバート博士

(オックスフォード大教授・アストラゼネカ社製ワクチン開発者)

世界ワクチン免疫連合 (Gavi, the Vaccine Alliance)

●鮮鶴平和賞創設者特別功労賞

フンセン・カンボジア王国首相

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大が続く中、ギルバート博士はアストラゼネカ（AZ）社とともにコロナワクチンを共同開発し、途上国の感染症対応に寄与した功績が高く評価されました。

共同受賞者である世界ワクチン免疫連合は、全世界のすべての国々にワクチンを公正に配分するためのメカニズムである「コバックスファシリティ（COVAX Facility）」を主導し、これまでに144カ国に10億回分のワクチンを供給しました。

授賞についてバローゾ委員長は、「逆説的だが、新型コロナパンデミックが、私たちに連帯と協力を推進する機会を与えた」とし、「次のパンデミックがいつ、どこで発生するかわからないが、コロナパンデミックを通じ、ただ人類愛に基づいた連帯と協力だけが、グローバル危機のソリューションであるということ学ぶことになった」と語りました。

一方、鮮鶴平和賞財団は、「創設者設立者特別功労賞」の受賞者にフンセンカボジア王国首相（70）を決定したと発表しました。フンセン首相は、東南アジアの持続可能な発展と繁栄のためにリーダーシップを発揮した功績が認められ、特に同財団の設立者である韓鶴子総裁が提案した「新統一韓国平和体制」に歩調を合わせ、「韓半島平和サミット」の共同委員長として活躍した功績が高く評価されました。

国連NGOのUPF（Universal Peace Federation＝本部・米国ニューヨーク）のユン・ヨンホ世界本部長は、「韓総裁は恒久的な平和世界を構築するためには共生（相互依存）、共栄（共同繁栄）、共義（普遍的な価値）の共通理念が必要だと力説してきた」と述べ、フンセン首相について、「東南アジアと韓半島（朝鮮半島）のより明るい未来を共に建設している人物だ」と称賛しました。

授賞式は、2月12日(土)午前10時、韓国清心平和ワールドセンター（京畿道加平郡）をメイン会場に、オンライン－オフラインを連携したハイブリッド方式で開催されます。受賞者には、各50万ドルの賞金とメダルが授与されます。

問い合わせ先：鮮鶴平和賞財団

:02-3278-5158, +82-10-2936-9138

www.sunhakpeaceprize.org